

令和 8 年度第 4 回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和 8 年 8 月 2 4 日（月） 午後 3 時 3 0 分～午後 5 時 1 0 分
- 2 場 所 岡山市役所 ほっとプラザ大供 5 階 軽スポーツ室兼会議室
- 3 出席委員 今中委員、岸委員、田村委員、中塚委員、水ノ上委員、山本委員、
柚木委員

- 4 出席職員
（市民協働局）江口部長
（女性が輝くまちづくり推進課）大下課長、松浦主査

- 5 傍 聴 者 0 人

- 6 次 第
（開会）
市民協働局部長挨拶
（1）議事
第 6 次さんかくプランの策定について
（2）その他

- 7 配付資料
- | | |
|------|-------------------------|
| 資料 1 | 第 6 次さんかくプラン 具体的施策体系（案） |
| 資料 2 | 第 6 次さんかくプラン 計画内容（たたき台） |
| 資料 3 | 第 6 次さんかくプラン 成果指標（案） |
| 資料 4 | 第 6 次さんかくプラン 取組指標（案） |
| 参考資料 | 第 6 次さんかくプラン（案）説明資料 |

- 8 会議の状況
（1）議事

議事① 第 6 次さんかくプランの策定について

○説明内容

資料 1 及び資料 2 について事務局から説明

- ・具体的施策の体系について、第 3 回委員会までの議論を踏まえ整理
- ・アンコンシャス・バイアス、多様性（SOGI 等）、プレコンセプションケア、リスクリン
グ、政治分野への女性参画等の視点を追加
- ・具体的施策に紐づく主な事業を整理し、現状に即した内容へ更新

○意見等

■具体的施策について

- ・アンコンシャス・バイアスについては、性別に関するものだけではなく、男女共同参画と
は無関係のものもあるので、「性に関するアンコンシャス・バイアス」とすべきでは
⇒性別等に関わらずという計画の柱を踏まえて、人権や多様性など幅広い視点を含めている
- ・「性と生殖の健康と権利」に関する施策について、具体的施策の表現も施策の方向性と整
合を図るべき
- ・プレコンセプションケアについて、啓発に加え、健康部門による検査や相談体制などの取
組も見据えながら事業を検討すべき
- ・主な事業については今後も担当課との調整を続け、必要な事業の追加を検討していく

○説明内容

資料3について事務局から説明

- ・成果指標について、基本目標の達成状況を測る指標として整理
- ・認知度のみならず利用や行動の変化を重視した指標へ見直し
- ・育児休業取得率、パートナーシップ宣誓制度、健康支援、DV防止、ワーク・ライフ・バランス等に関する新たな成果指標案を提示

○意見等

■成果指標について

- ・さんかく岡山の利用経験を指標とする場合は、認知度との関係や施設利用に影響する要因も考慮する必要がある
- ・パートナーシップ宣誓制度については、利用を妨げる要因（アウティングのリスクなど）のために利用が困難な例も多いため、現状では、制度利用件数のみでは評価が難しい。
- ・プレコンセプションケアの認知度や企業における取組状況などを成果指標として検討してはどうか
- ・男性の育児休業については取得率だけでなく取得期間も重要であり、成果指標に反映することを検討すべき
- ・困難を抱える女性への支援については、男女の賃金格差だけでなく、相対的貧困や絶対的貧困など実態を把握できる指標や、孤立・孤独、相談支援体制等を反映した指標の検討が必要
- ・性犯罪については認知件数のみで評価することは難しい一方、市民調査等を含めた被害実態の把握や継続的な状況確認が必要
- ・防災分野では、防災士や女性消防団員の割合だけでなく、避難所運営等における男女共同参画の視点を反映した指標の検討を求める
- ・小学生や高校生を含めた性に関する相談・教育の状況についても検討が必要

○説明内容

資料4について事務局から説明

- ・取組指標を事業進捗の把握を目的とした指標として整理
- ・実績把握が困難な指標や毎年測定できない指標について見直しを実施
- ・男女共同参画教育、性の多様性、居場所事業、防災、女性活躍等に関する指標案を提示

○意見等

■取組指標について

- ・保護者への啓発については、実施園の割合数だけでなく参加人数等の実態が分かる指標が望ましい、また小中学校も入れてよいのでは
- ・男女共同参画に関する授業や保護者啓発については、実施の有無だけでなく内容や質を高めるための教職員研修等も重要
- ・若者向け相談事業（3丁目ユース相談室）については利用者数だけで評価するのではなく、利用しやすい環境整備も重要
- ・（保育園・放課後児童クラブでの）待機児童数のみでは実態を把握しきれないため、希望する施設への入所状況等も把握できる仕組みが望ましい
- ・女性起業家育成支援については、受講修了だけでなく、その後の起業や就業など成果につながった状況も把握すべき
- ・（取組指標で現在検討中の）市職員や企業における女性管理職割合については、成果指標として整理することも検討すべき

（2）その他

- ・（柚木委員より）

第27回シェルターネットシンポジウムについての案内

- （岸委員より）
「赤ちゃんのママのための防災手帖」についての紹介
- （事務局より）
さんかくカレッジの受講者募集についての案内
第6次さんかくプラン策定に係るワークショップについての案内
第5回会議は令和8年9月28日に開催予定